

マルチクラウドおよびハイブリッド環境におけるデータ管理の課題をiPaaSで解消

主なメリット

デジタルトランスフォーメーションには、下記のメリットを提供すると共に、オンプレミスや複数のクラウドのデータを統合して管理できる、クラウドベースのデータ管理ソリューションが必要です。

- ・新しい統合事例と高度な統合事例の両方をサポート
- ・状況に沿った適切な業務データを適切なユーザーへ適切なタイミングで提供
- ・複雑なビジネスプロセスをリアルタイムに自動化
- ・パートナー、顧客、従業員間でデータとアプリケーションを統合

あらゆる統合パターン、データ、ユーザーに対応する次世代ソリューション

IT部門は、信頼できるデータをタイムリーに提供することで自社のデジタルトランスフォーメーションイニシアチブを支援する責任を担っています。しかし、その責任を果たすことはますます困難になっています。データの量や複雑さ、スピードは増しており、ITアーキテクチャのあらゆるレベルでテクノロジーがかつてない変化を遂げている中で、IT部門はオンプレミス、ハイブリッド、マルチクラウドのすべての環境を通じてデータを管理しなければなりません。

これらの課題へ対応するには、iPaaS（Integration Platform as a Service：サービスとしての統合プラットフォーム）ソリューションが不可欠です。

考慮すべき重要なポイント

- ・クラウドのメリットを活かす。拡張性、コスト、柔軟性といったクラウドのメリットを活用することで、ビジネスの俊敏性を高めることができます。
- ・新しいクラウドプラットフォームを見据えて計画する。多くの企業が、Amazon Web Services（AWS）、Microsoft Azure、Google Cloudなどのプラットフォームを含むマルチクラウドアーキテクチャに移行しています。
- ・新しいクラウドシステムを見据えて計画する。Microsoft Dynamics、Workday、NetSuite、Oracle、Salesforce、Marketoなどが挙げられます。また、計画の際にはTableau、QlikView、Microsoft Power BIなどの新しいクラウドデータ視覚化アプリとアナリティクスアプリも考慮に入れる必要があります。
- ・新しいユーザータイプを見据えて計画する。既存のユーザーと新しいユーザーのどちらも、より質が高いデータとインサイトへの高速アクセスを求めています。IT部門は、一元管理とアドホックな統合プロジェクトのサポートの最適なバランスを取ることに多大な努力を払っています。
- ・新しい使用事例を見据えて計画する。データおよびアプリケーション統合の使用事例は、シンプルなポイント間の統合からパートナーやソーシャルメディア、IoT（モノのインターネット）、ビッグデータ、クラウドデータレイクなど多くの異なるソースからのデータの統合といった、より高度なパターンへと進化しています。

IT部門は、データやシステム、プロセスが変わっても必要なデータを必要な品質とスピードで提供できるアーキテクチャを計画する必要があります。iPaaSなどのデータ管理ソリューションは、データ主導のデジタルトランスフォーメーションを成功に導くための重要な基盤となります。

必要なのは次世代iPaaSソリューションです。既存のiPaaSソリューションの多くは古いテクノロジー（EAI、ESB、ETLなど）を基盤としていますが、これらのテクノロジーはポイントソリューションであるためデータのサイロ化につながり、データ統合やデータ管理に関連する課題を解消できません。

Informatica Intelligent Cloud ServicesがiPaaSの課題を解消

インフォマティカの次世代iPaaSを導入すれば、マルチクラウド環境でデータ主導のデジタルトランスフォーメーションを推進できます。Informatica Intelligent Cloud Services™（IICS）は、マルチクラウドおよびハイブリッド環境でデータを管理するためのモジュール式の完全なエンドツーエンドソリューションで、優れた拡張性を備え、ビジネスと同じスピードでデータを提供しながら、最も高い要件が求められる新しい使用事例にも対応します。

幅広いiPaaS統合パターンにわたり最先端の統合ユーザーエクスペリエンスを提供するIICSは、カスタマイズ可能な使いやすいモジュール式のマイクロサービスアーキテクチャを基盤としています。CLAIRE™エンジンを基盤にした生産的なデータ管理環境によって、人工知能（AI）と機械学習（ML）からの提案を利用しながら、統合とデータ管理の作業を自動化、促進できます。この新しいiPaaSの高度な統合パターンを活用して、クラウド、ハイブリッド、オンプレミスの各環境にまたがる、あらゆるタイプのデータを接続することで、ビジネスイノベーションを促進し、業務部門とIT部門の両方のユーザーをサポートすることが可能になります。

使用事例、機能、利点

企業には、クラウド、マルチクラウド、ハイブリッド環境の新たな使用事例に対応できる、次世代のiPaaSが必要です。次世代iPaaSには次のような機能が求められます。

- **クラウドデータ統合。** Amazon Redshift、Microsoft Azure SQL Data Warehouse、Google BigQuery、Snowflakeなどのクラウドデータウェアハウス用にカスタマイズされている、すぐに使い始められるソリューションテンプレートにより、クラウドデータウェアハウスへのワークロード統合を自動化および高速化するため。
- **クラウドアプリケーション統合。** インテリジェントなビジネスプロセスを構築し、クラウドやオンプレミスアプリケーションのデータソースをリアルタイムに統合するため。
- **パートナー統合とEDI。** B2Bゲートウェイを使用して、ビジネスパートナーとデータや電子メッセージを交換するため。
- **クラウド統合ハブ。** シンプルなパブリッシュ/サブスクライブ型アーキテクチャを導入して、データ統合アーキテクチャを整流化するため。データソースからすべてのユーザー向けに一度パブリッシュするだけで、ユーザーは自分の希望する形式とタイミングでデータを受信することが可能になります。
- **クラウドデータ品質。** データのプロファイリングを行い、データ品質の問題を特定し、データ品質ルールを作成および実行して問題を継続的に解決するため。これにより、意思決定や重要なビジネスプロセスに役立つ信頼できるデータを確実に提供できます。
- **クラウドマスターデータ管理。** 社内外の複数のデータソースシステムからデータを収集して、業務上重要な組織単位（顧客、サプライヤー、パートナーなど）に関するデータの360度ビューを構築するため。
- **クラウドデータセキュリティ。** 機密データを迅速に特定して保護することで、法規制やデータセキュリティポリシーへのコンプライアンスを確保するため。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要とされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

今後のステップ

今こそ、データ主導のデジタルトランスフォーメーションに伴うデータ管理のさまざまな課題を解消することを、真剣に考える時です。どうすればデータ管理の課題を解消できるのか。インフォマティカが提供する次世代iPaaSソリューションの30日間無料体験版でご確認ください。

www.informatica.com/trials

